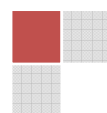




Analyze232C 専用USBアダプタ

Windows Vista インストール説明書

Windows Vista へ Analyze232C 専用 USB アダプタ ALZUSB-001 をインストールします。



目次

1. はじめに.....	1
2. インストール	2
概要.....	2
手順.....	2
3. インストールの確認.....	9
4. Analyze232C の設定	10
5. アンインストール.....	12
概要.....	12
手順.....	12

1. はじめに

この度は Analyze232C 専用 USB アダプタをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

初期の Analyze232C は、Windows PC の標準 COM ポート 2 個を利用して RS-232C 回線をモニタするソフトウェアでした。当時はユーザー様ご自身で必要な接続ケーブルをご用意いただく必要があり、ハードウェアに精通していないソフトウェア技術者の方達には少しハードルの高い RS-232C ラインモニタでした。

その後、ハードウェアに精通していないソフトウェア技術者の方達にも手軽にご利用頂けるよう Analyze232C 専用ケーブルのご提供が始まります。

しかし時代の流れと共に COM ポートを実装している PC が少なくなり、今ではほとんどの PC が USB に置き換わっています。

そこでご提供を開始したのが、この Analyze232C 専用 USB アダプタです。

Analyze232C 専用 USB アダプタには、仮想 COM ポート 2 個。そして Analyze232C 専用ケーブルと同じ配線をした回路が 1 つのケースに納められています。このため、Windows PC に空き USB ポートが 1 つあれば、RS-232C 回線を 1 回線モニタ出来る様になりました。

USB を利用するにあたり Analyze232C 専用 USB アダプタのドライバソフトウェアを Windows にインストールする必要があります。

このマニュアルは、Windows Vista (32 ビットまたは 64 ビット)に Analyze232C 専用 USB アダプタをインストールするためのインストールマニュアルです。

2. インストール

概要

Windows Vista に管理者権限を持つユーザでログインしてください。

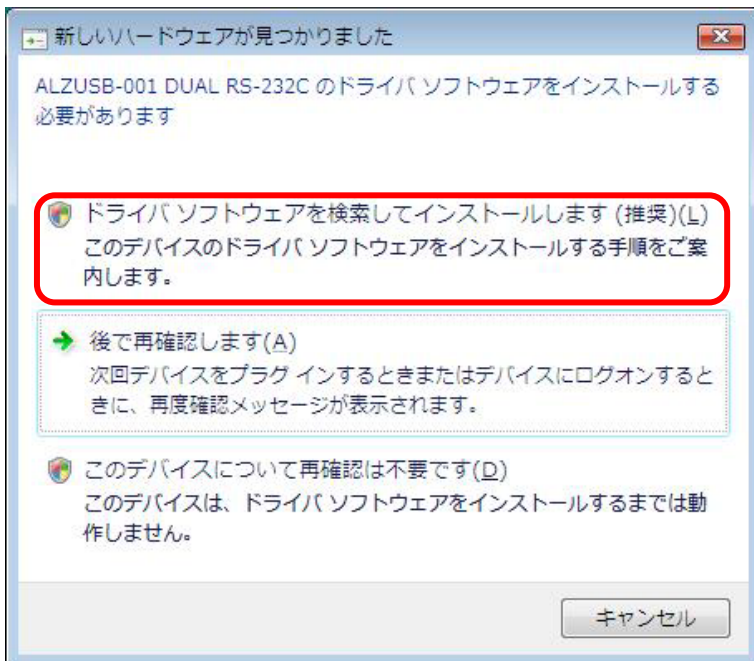
Analyze232C 専用 USB アダプタ(ALZUSB-001)を PC に接続すると、自動的に『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』が開始されます。そのウィザードの手順を説明します。

ALZUSB-001 には、USB ドライバと仮想 COM ポートドライバの 2 種類のドライバがインストールされます。また ALZUSB-001 には 2ch の COM ポートが実装されていますので、2 種類×2ch の合計 4 つのドライバがインストールされます。

通常は上記 4 つのドライバを 4 回に分けてウィザードがインストールを進めて行きます。しかし Windows Vista のバージョンやエディション、自動更新具合によりインストール回数が異なる場合がございます。バージョンによっては、1 回または 2 回インストールを行うと、残りのドライバは自動でインストールされる場合があります。

このマニュアルでは、2 回インストールされるバージョンを説明しています。基本的には同じ手順の繰り返しになりますので、ご利用の Windows Vista バージョンの動作に読み換えてインストールを行ってください。

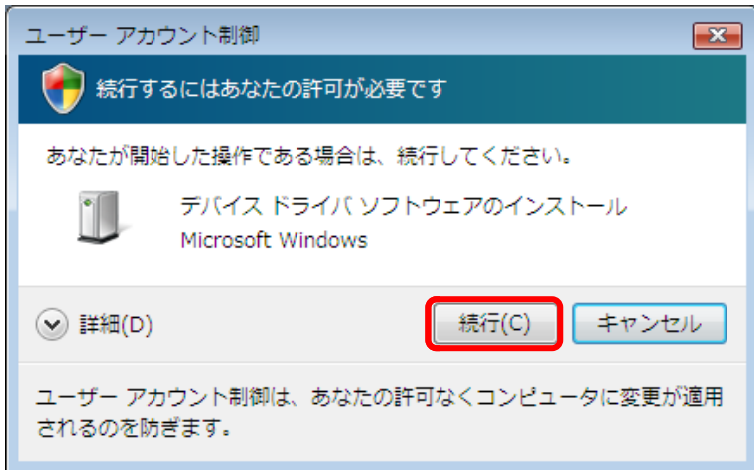
手順



ALZUSB-001 を USB ポートに接続してください。

『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動します。

『ドライバソフトウェアを検索してインストールします』をクリックします。



『ユーザー アカウント制御』ダイアログが表示されます。

内容を確認して『続行』ボタンをクリックしてください。

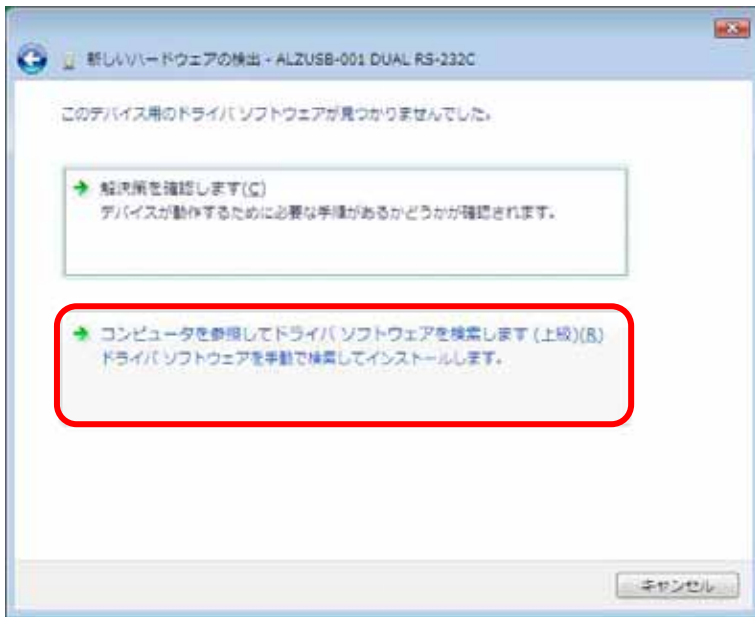


『オンラインで検索しません』をクリックします。

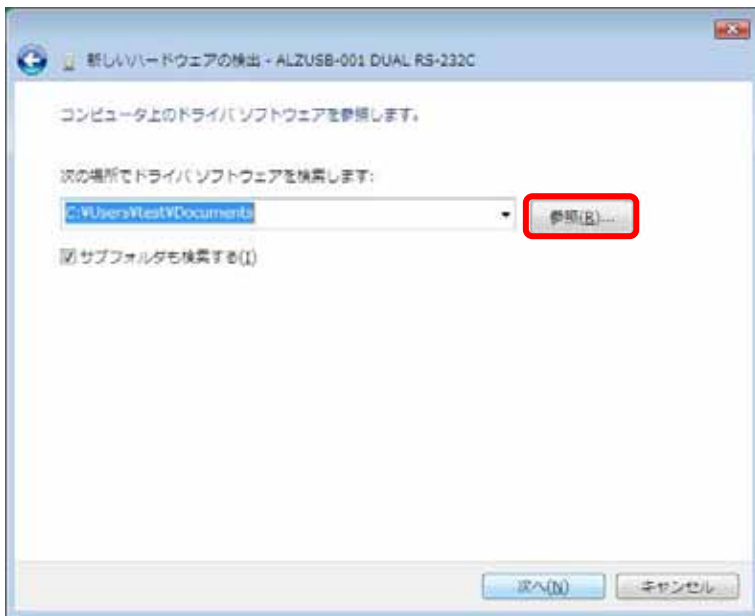


ドライバが CD 等で供給されている場合は、ディスクを PC に挿入してください。自動的に検索が開始されます。

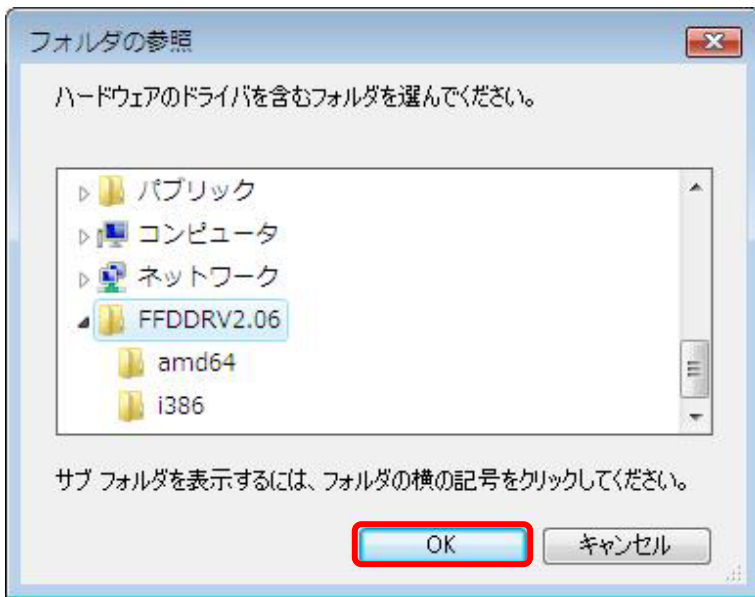
Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『ディスクはありません。他の方法を試します。』をクリックします。



Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『コンピュータを参照してドライバを検索します』をクリックします。



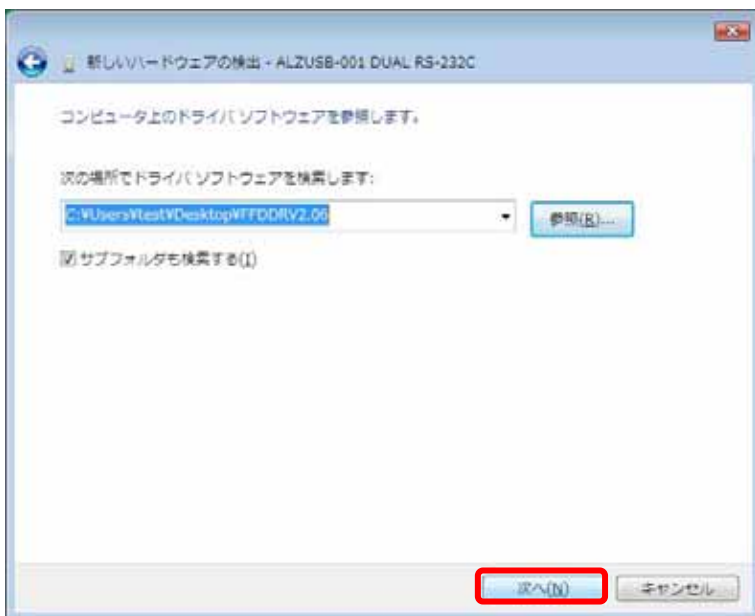
Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『参照』ボタンをクリックします。



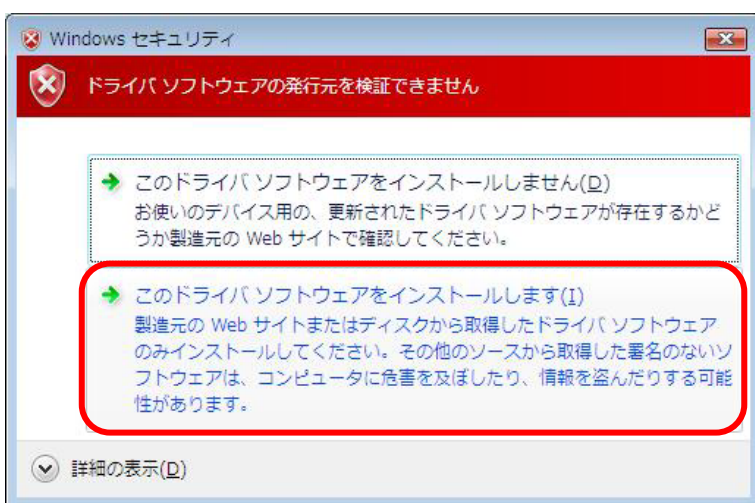
Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、保存しているフォルダを指定して、『OK』ボタンをクリックします。

例は、デスクトップにファイルを保存している場合です。

ドライバのバージョンによりフォルダ名が異なる場合がございます。

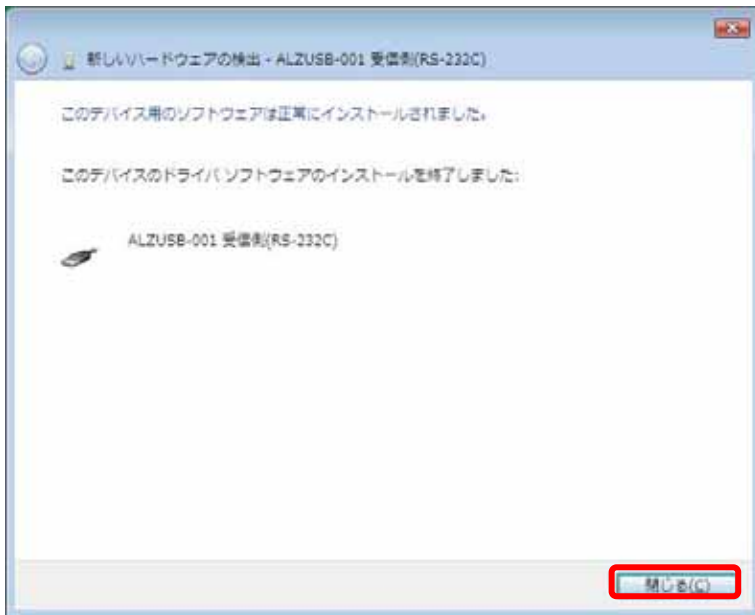


Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『次へ』ボタンをクリックします。



Windows セキュリティの警告が表示されます。

内容を確認して『このドライバソフトウェアをインストールします』をクリックします。



ドライバインストールが終了したら『閉じる』ボタンをクリックします

Vistaのバージョンによっては、この後、自動的に全てのドライバがインストールされる場合がございます。

その場合は、ここでインストールが終了です。

その他のバージョンでは、残りのインストールを続行してください。



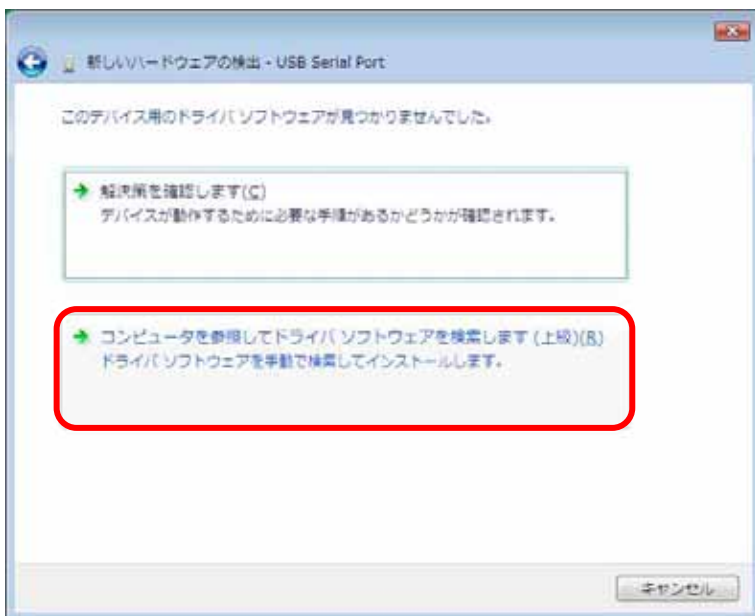
残りのドライバ検索ウィザードが起動します。

『オンラインで検索しません』をクリックします。

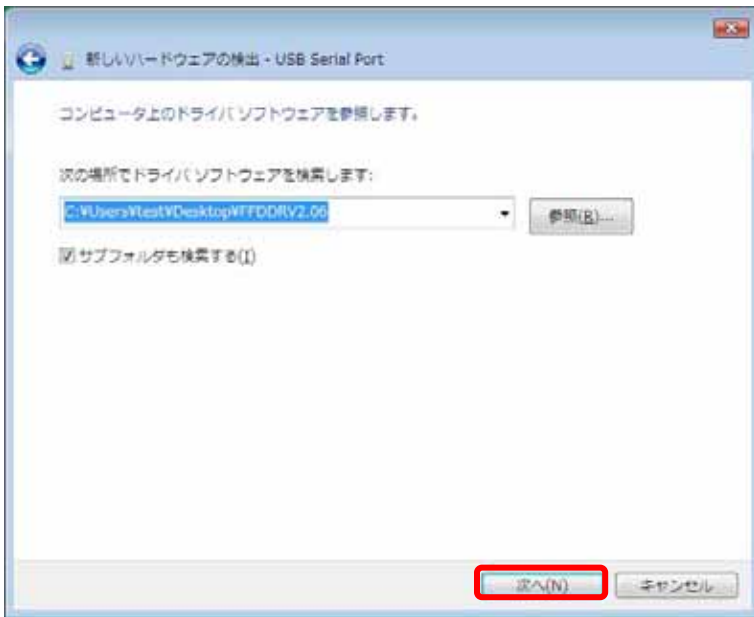


前回のインストールと同様にドライバが CD 等で供給されている場合は、ディスクを PC に挿入してください。自動的に検索が開始されます。

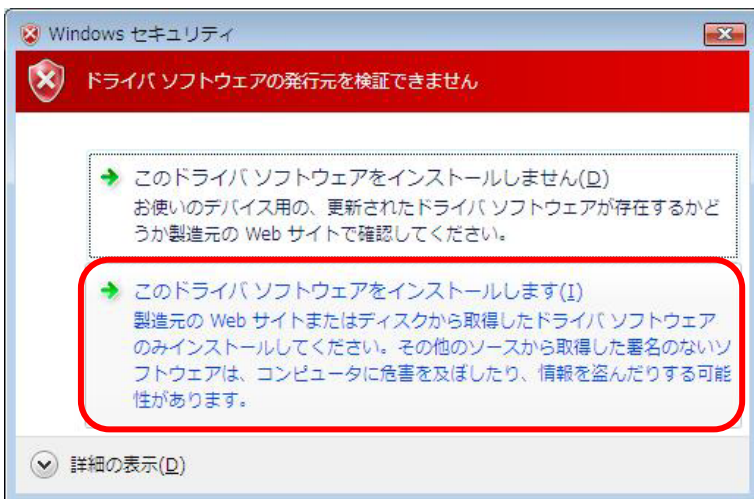
Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『ディスクはありません。他の方法を試します。』をクリックします。



Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、『コンピュータを参照してドライバを検索します』をクリックします。

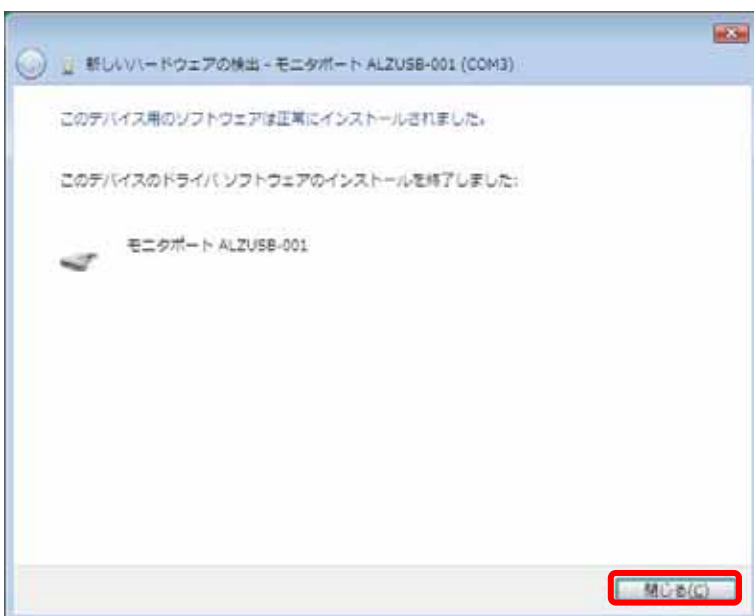


Web サイト等からダウンロードしたファイルを PC に保存している場合は、前回のインストールで場所は指定済みなので、何も変更せずに『次へ』ボタンをクリックします。



Windows セキュリティの警告が表示されます。

内容を確認して『このドライバソフトウェアをインストールします』をクリックします。



ドライバインストールが終了したら『閉じる』ボタンをクリックします

Vista のバージョンによっては、この後もインストールが続く場合がございます。その場合は、これまでと同様にインストールを進めてください。

例では、ここでインストールが終了です。

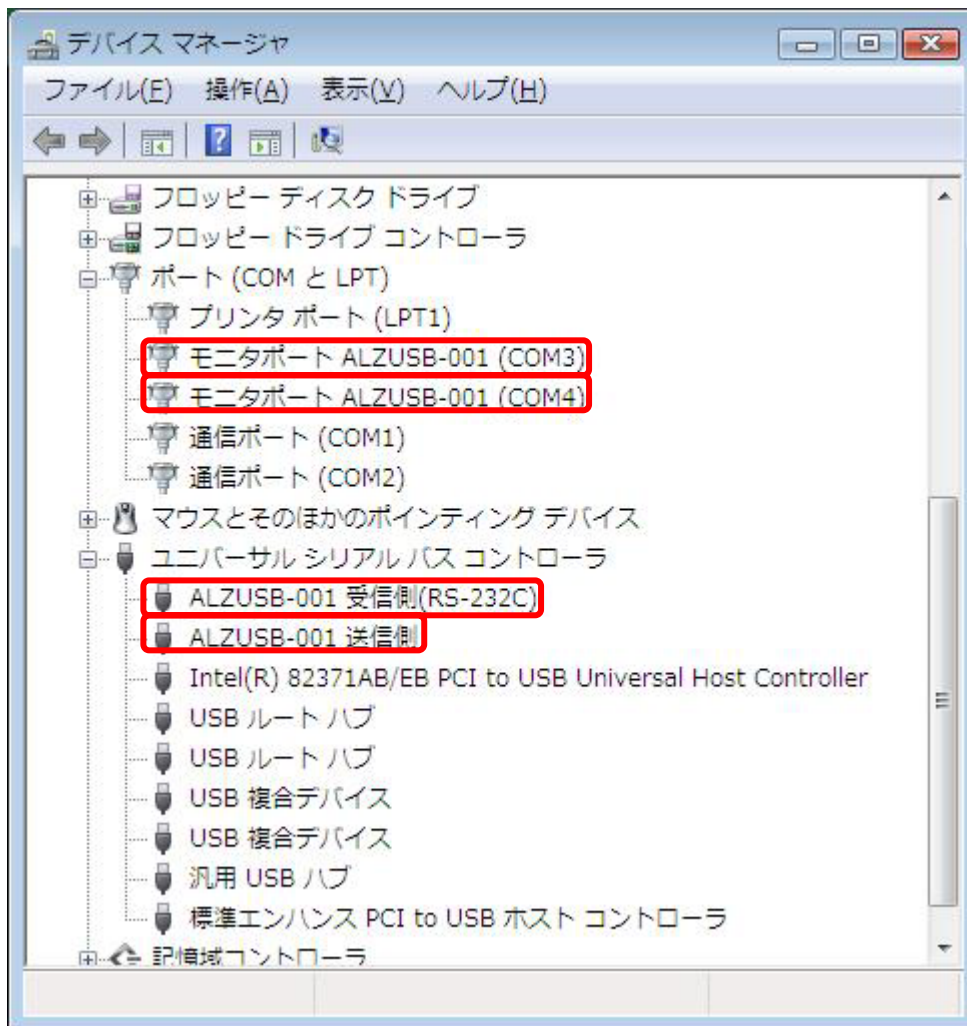
3. インストールの確認

正常にインストールできたかデバイスドライバを使用して確認する事が出来ます。

Windowsのスタートボタンをクリックし、マイコンピュータを『右クリック』するとポップアップメニューが表示されます。その後『プロパティ』を選択して『コンピュータの基本的な情報の表示』を表示してください。そして左側『タスク』一覧の『デバイスマネージャ』をクリックします。

『ポート(COMとLPT)』および『ユニバーサルシリアルバスコントローラ』を展開してください。

次の様に4つのドライバがインストールされていれば正常です。



【注意】

例ではモニタポートに COM3 と COM4 が表示されていますが、COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合があります。

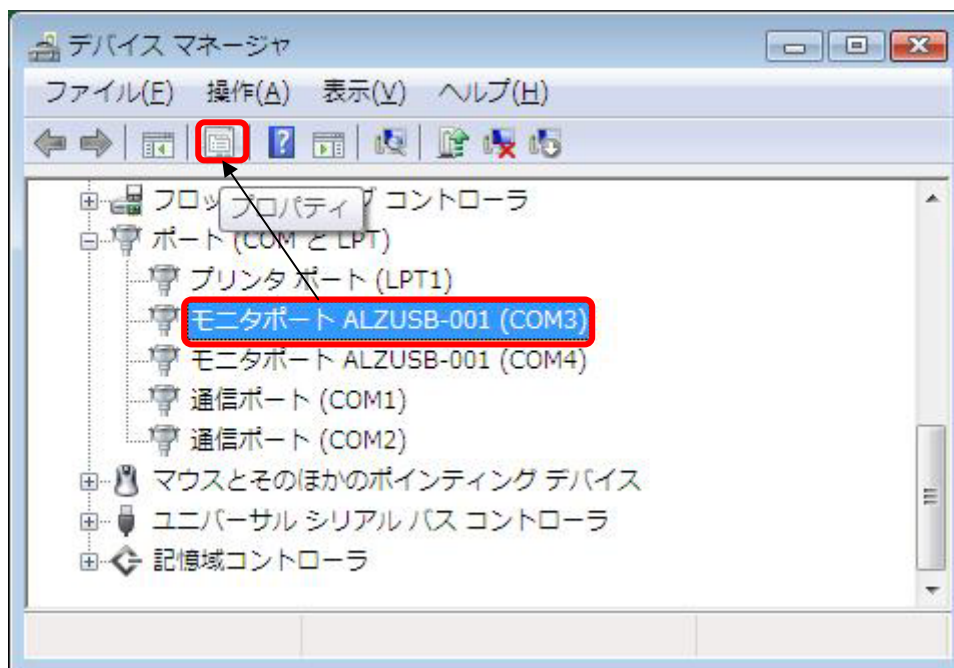
4. Analyze232C の設定

RS-232C は、全二重通信です。1 回線に送信ラインと受信ラインが独立して設けられており送受信を同時に行う事が可能です。

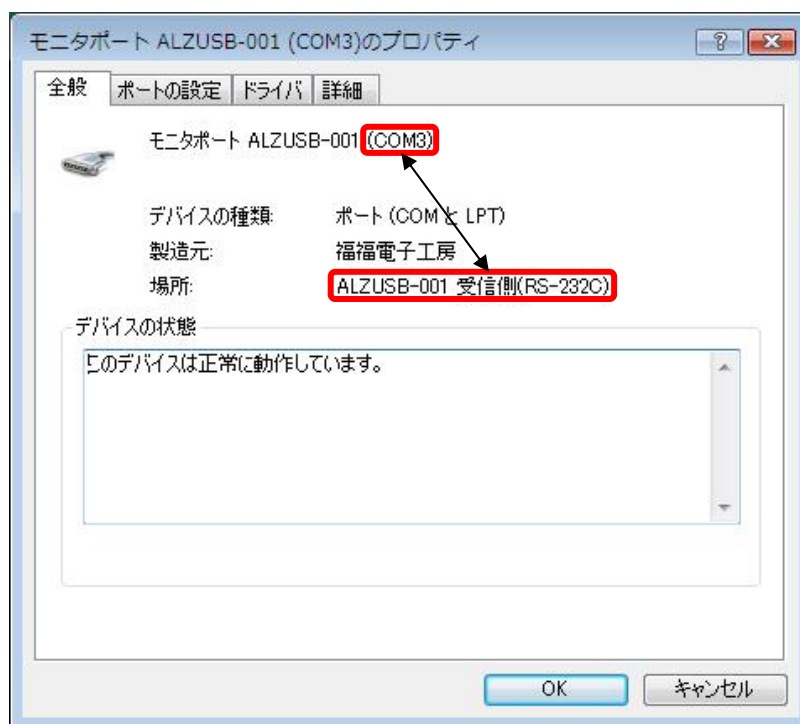
Analyze232C は、2 つの COM ポートを利用して、RS-232C の送信ラインと受信ラインを同時にモニタします。Analyze232C の COM ポート設定では、送信側でオープンした COM ポートで送信ライン。受信側でオープンした COM ポートで受信ラインをモニタします。

インストールされた ALZUSB-001 の 2ch の仮想 COM ポートのどちらが送信側か？受信側か？を調べるには、デバイスマネージャを利用します。

インストールの確認と同じ手順でデバイスマネージャを開いてください。

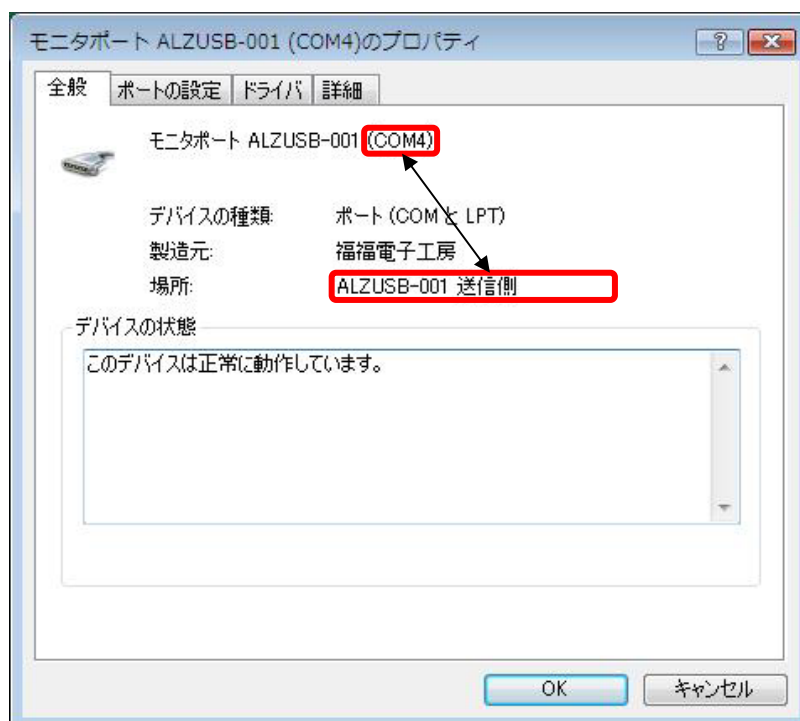


調べたい『モニタポート ALZUSB-001』をクリック選択し、ツールバーの『プロパティ』ボタンをクリックします。



モニタポート ALZUSB-001 のプロパティでは、COM のポート番号と受信側または送信側と表示されています。上記例では、COM3 が受信側となっていますので Analyze232C の COM ポート設定では、受信側ポートに COM3 を選択してください。

同様に残りのモニタポート ALZUSB-001 のプロパティを開いてください。



こちらでは、COM4 が送信側と表示されているので、Analyze232C の COM ポート設定では送信側ポートに COM4 を選択してください。

5. アンインストール

概要

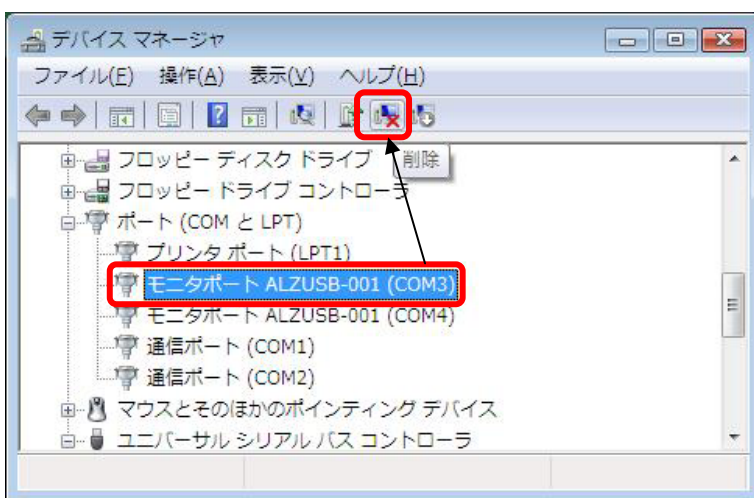
アンインストールは、デバイスマネージャを使用してドライバソフトウェアを全て削除します。

インストール時に 2ch の COM ポートへ 2 種類のドライバをインストールしましたので、合計 4 つのドライバソフトウェアがインストールされています。

したがって、アンインストール作業は 4 回行います。

インストールの確認と同様にデバイスマネージャを起動してアンインストールを開始してください。

手順

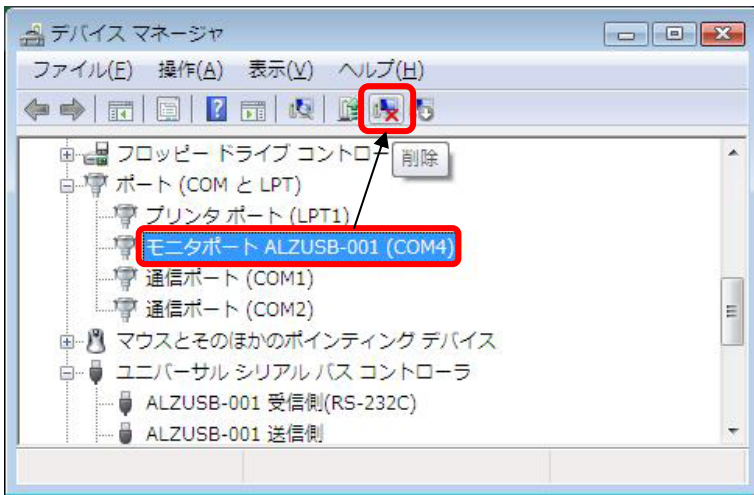


デバイスマネージャの『ポート(COM と LPT)』を展開して『モニタポート ALZUSB-001(COM3)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。

COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合がございます。

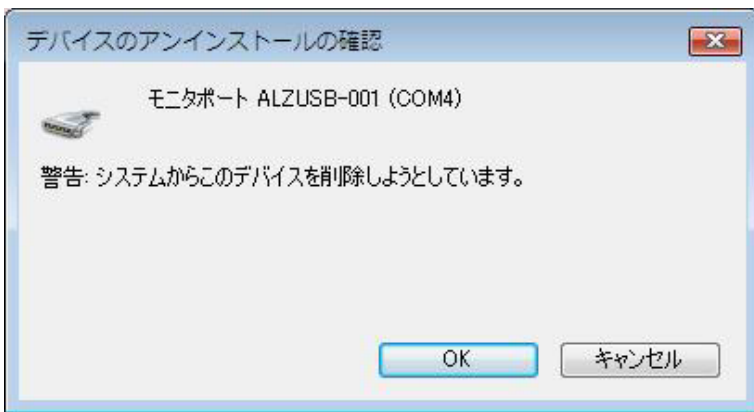


削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。

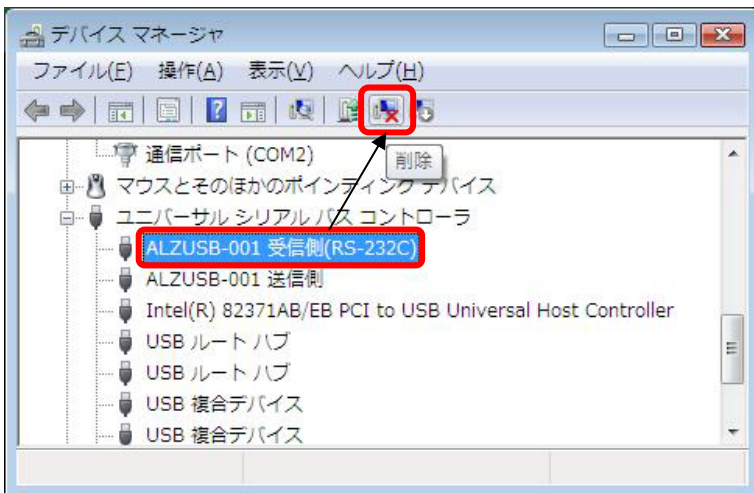


次に『モニタポート ALZUSB-001(COM4)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。

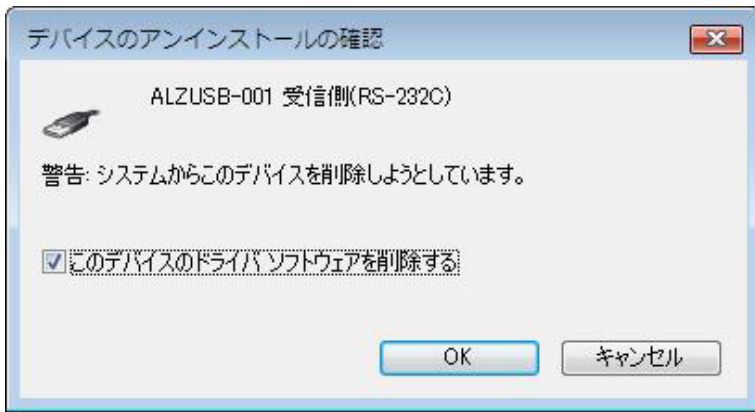
COM ポート番号は、ご利用の PC によって異なる場合がございます。



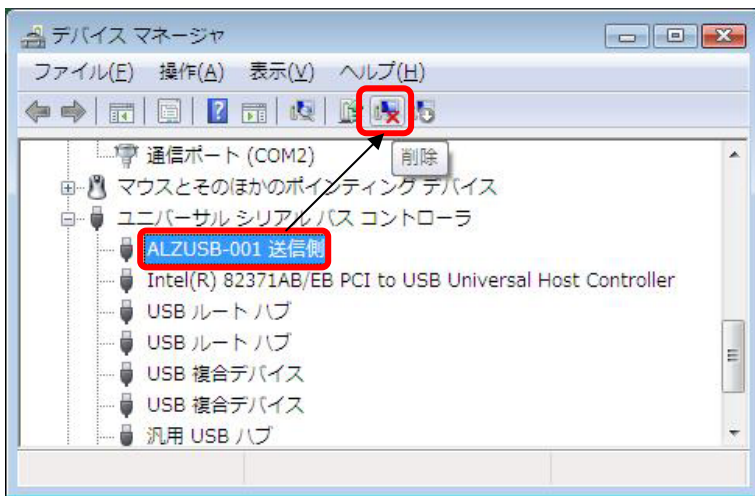
削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。



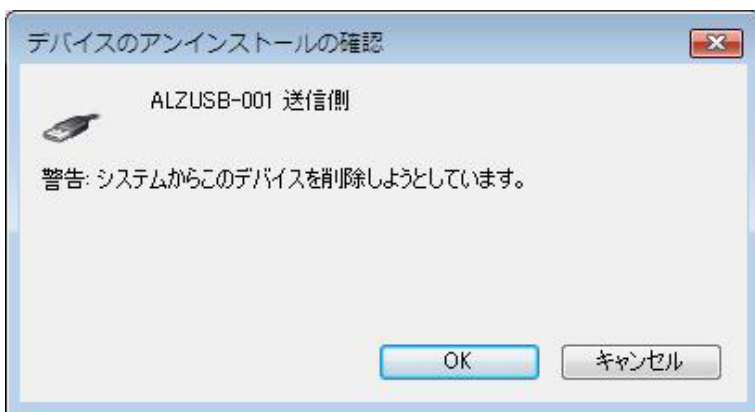
デバイスマネージャの『ユニバーサルシリアルバスコントローラ』を展開して『ALZUSB-001 受信側(RS-232C)』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。



削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。



『ALZUSB-001 送信側』を選択し、ツールバーの削除をクリックします。



削除されるドライバ名称を確認して、OK ボタンをクリックするとドライバがアンインストールされます。

以上で、アンインストールが終了です。